

銘柄分析レポート：苦痛関連銘柄（2019年版）

1 はじめに

昨年に引き続き、今年も自然災害が猛威を振るっています。とりわけ10月に日本列島を直撃した台風19号の被害は甚大でした。

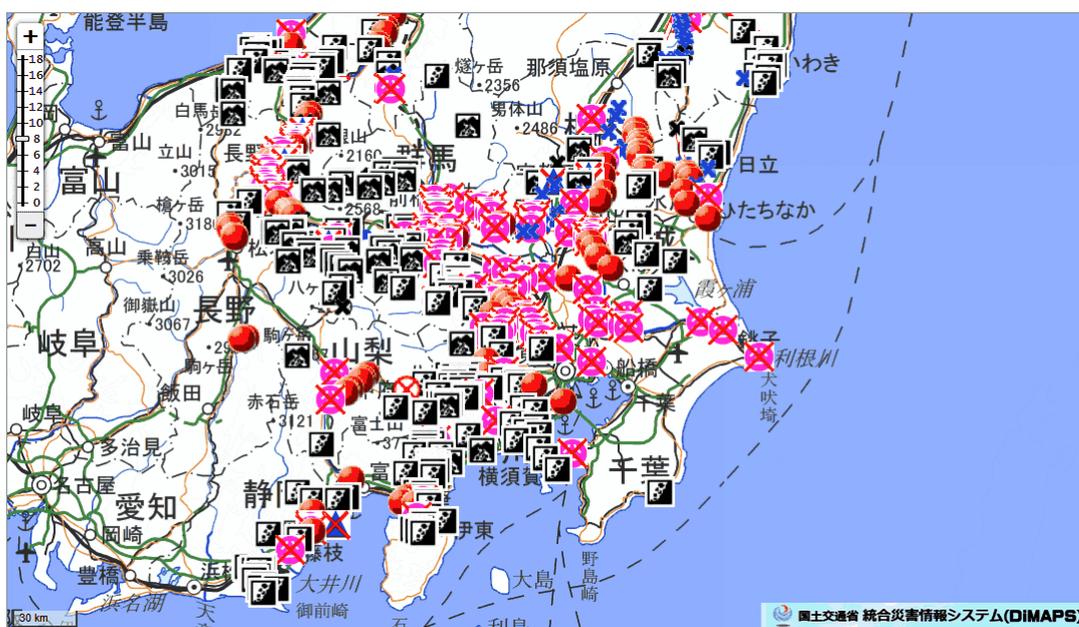
輸出関連株は米中貿易摩擦の影響を受け、内需関連株は消費税増税による低迷が想定される中で、まさに泣き面に蜂です。

短期のトレード目的と割り切るのであれば、日経平均に連れ高している強い銘柄に付いて行くのもありでしょう。しかし、ファンダメンタル分析をベースとした長期投資では、いったい何を買えばいいのか、悩んでしまいます。

こんなときでも、投資家は前を向かなければなりません。そこでひねり出した投資対象が達人投資家ラルフ・ワンガーの命名した苦痛関連銘柄です。ワンガーが紹介されている『新ファンド・マネジャー』（後に『マネーマスターズ列伝』として再編）より該当箇所を引用します。

さらに、事態の悪化に乗じて繁栄するといった類の会社があることも忘れてはならない。たとえば、H&Rブロックは税制が複雑なればなるほど儲かる会社だし、コマース・クリアリング・ハウスは規制に乗じて食べているといえなくもない。保険代理店業者は世の中の危険増加を頼りに収入を増やしている。ワンガーはこの手の銘柄を「苦痛関連」と呼んでいる。

★台風19号による被害状況



出典：国土交通省